

実験用てこ JL-60

このたびは、「実験用てこ JL-60」をお買い上げいただきありがとうございます。

本器は、てこの実験をはじめ安定・中立・不安定なつり合いの実験ができます。

1. 製品の内容

- ① てこ 金属製 長さ620mm
50mm毎に白赤色別け目盛で見やすくし、各目盛線の上下におもりつり下げ用穴で中央部（支点）に3個、両端に各1個の黄銅製の軸受けを付けて支点軸棒との摩擦を小さくしています。
- ② A形三足台 金属製
支柱を安定して立てることができるとともに、収納時場所をとらないよう重ね合わすこともできます。
- ③ 支柱 金属製
上部に支点軸棒とうでのストッパーを付け、下部には台取付用ねじ付きです。
- ④ おもり 金属製
両端フック付きで重さ20g、精度±0.2g 10個を樹脂製ケースに納めています。

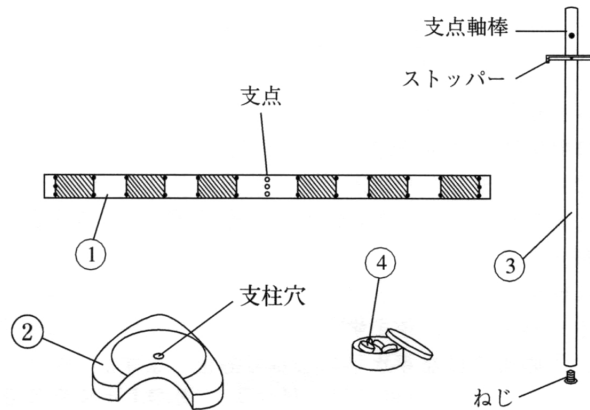


図1. 製品の構成

2. 支柱の組立て

A形台の裏よりねじを差し込み、支柱の支点軸棒が正面（図2）に向くようにして支柱をねじで確実に固定してください。

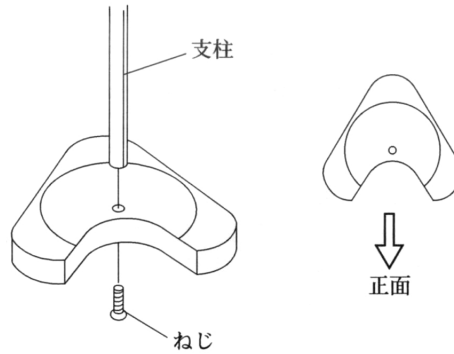


図2. 支柱の組立

3. 使用法

1) うでの安定・中立・不安定の実験

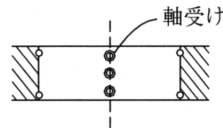


図3. 支点

うでにおもりをかけないとき

- ① うでの中央部の3個の軸受けの上部に支点軸棒を入れた時（重心が下）は、うでは常に安定した状態で水平位置に静止します。
- ② 中央に軸棒を入れる（重心位置）とうでは中立となり、どのような位置でも静止します。
- ③ 下部に軸棒を入れる（重心が上）とうでは不安定となり、どちらかに傾きストッパーに当たります。ストッパーを支柱よりははずすと、うでは最終的に①のようになり水平になって静止します。

2) つり合いの実験例

てこに働く力の大きさと、支点・力点・作用点の3点間の距離との関係を数量的に調べます。

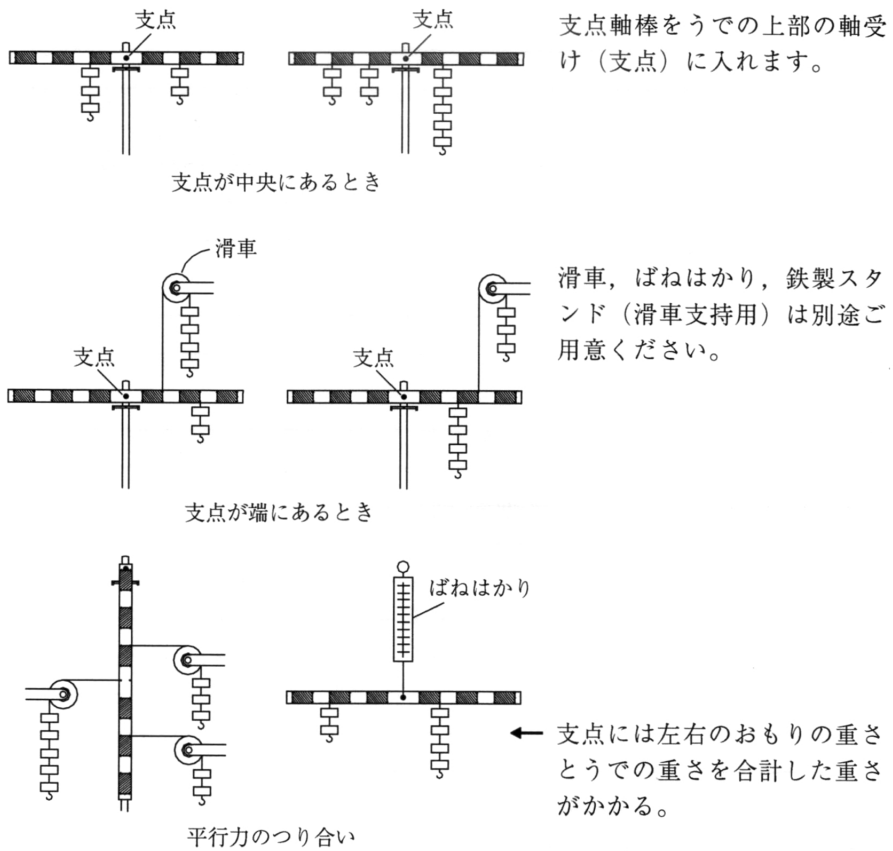


図4. 実験例

関連器具

ばねはかり 5形	Cat.No. 103-750
滑車 A	Cat.No. 121-030
鉄製スタンド LC-B	Cat.No. 112-097